

# 躍進

YAKUSIN

No. 10

株式会社 加藤組社内報「躍進」

発行日/平2元年1月1日

発行/株式会社 加藤組

男鹿市脇本脇本字向山18-6 TEL (0185) 25-3001(代)  
FAX (0185) 25-2234



株式会社 加藤組

光 飯 商 事 株 式 会 社 日 本 ア ス コ ン 株 式 会 社  
秋 田 ブ ロ ッ ク 工 業 株 式 会 社 秋 田 建 設 運 輸 株 式 会 社

## 明けましておめでとろございま秀

### 平成二年元旦



### 鳴り響け、翠光太鼓!

男鹿の海に広々と、平成の空に高らかに





# 90年代の新しい年を迎えて



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

## 孝 義 藤 加 頭 会 会 協 力

県内においては、ふるさと定住を推進中ですが、年間五千人以上の人口が減少しており、極めて厳しい現実であります。

若年労働者の県外流出、急速に進行している高齢化社会

など、雇用、福祉への対応、交通網の整備、農業基盤の確立、商工業の体質改善など課題は山積しておる状況であります。

剣豪宮本武蔵が、地、水、火、風、空の五巻にまとめた「五輪書」には、世の中は強い者中心に動いており、そのほうが、人間性にかなっていない、強者となるのは簡単ではないが、不可能な事ではない。誰でも、人の利、地の利、時の利を生かせる頭脳と、心がけ努力次第では可能である旨を兵法の極意として記述しております。

今、九十年代に入り、建設業界も近代産業に脱皮できる環境づくり懸命であります。さし当たっては、若年労働者の確保、労働時間短縮等いかにしてトータルな力を新しい方向に向って發揮できるかが問われる時代であります。

新年を迎え、皆様からの信頼と期待にこたえるべく決意を新たにしている次第です。今年も皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 平成二年 基本方針



皆さん、明けましておめでとうございます。ご家族の皆様お揃いで明るいお正月を迎えられたことと思います。

平成という新しい時代を迎えた昨年は、当社の受注量も増加傾向に向い、これに伴って現場作業も多忙を極め、年末ギリギリまで頑張っていた

# ゼロからの視点で レベルアップを図り 時代のリーダーを目指そう

社長 加藤 義 光

その基盤に安住するという消極的な考え方では、建設業における厳しい競争に勝って前進することは不可能です。初心に返って、ゼロからのスタートであるという認識をもつて進まなければなりません。

これからの新しい成果と、これまで半世紀かかって築いた基盤とが合体して、より高い位置に到達できるのです。

当社には若い力があります。無限の可能性を秘めた力があります。全員が力を合せて結束した若い集団こそ、これからの時代のリーダーになりうるのです。そして、それを次代に引継いで欲しいと思います。

先輩が築いた基盤に頼らず、これから自分が進む目標の

### 新入社員紹介



お 男  
とし 敏  
かど 門

昭和24年8月23日生

秋田市立高等学校卒  
配置 土木部土木主任



たかくわ み 香子  
高 桑 美 香 子

昭和43年4月25日生

秋田県立男鹿高等学校卒  
配置 総務部総務課

#### 私のひとこと

JRから出向という形で当社にお世話になっておりますが、皆さんと協力し合っ

#### 私のひとこと

静岡県からUターンして当社にお世話になりました。長所は我慢強いこと、短所は軽卒なことと思







伊藤 彦助

昭和29年7月23日生

昭和57年11月入社

土木主任

私も、三回目の干支の年を迎え、三十代の後半になります。過去を顧みると色々な事がありました。常に前向きな姿勢で事に臨み「昨日より今日、今日より明日」が明るくなるよう前進の年になりたいと思います。



成田 義則

昭和29年1月21日生

昭和53年8月入社

土木副主任

毎年、年頭に今年の目標を掲げてスタートするのですが年末になって振り返ってみれば目標の半分位しか達成できていないので、がっかりしてしまいます。今年は一九九〇年、二十世紀も残り十年になりました。



午歳ということ、年男でもありますので「今年こそ」は目標を必ず達成するよう、しかも、より高い目標を掲げてその達成に向けて最善を尽くしたいと思っております。



石井 光夫

昭和29年1月14日生

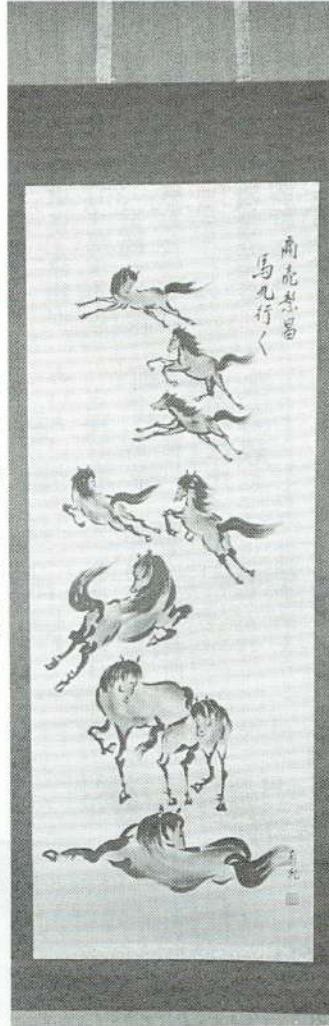
昭和59年2月入社

土木課

昨年は、東北横断自動車道

# 馬年を駆ける

人生には、いろいろの節目があり、自分が生まれたる干支の年も大きな節目で転機にもなります。午歳生まれの七人に今年の抱負を聞いてみました。



下間 正

昭和17年11月10日生

昭和53年3月入社

土木副主任

昭和五十二年に当社に入社して以来、舗装現場を主として頑張っておりまして。

昨年も建設省の浜田舗装工事や船川の港湾局部改良工事など、夜間工事の連続で、体力的には大変でしたが、自分がやっている仕事、会社のため、地域のためになると思えば頑張りがありました。今年、現場の施工管理技術をもっと磨き上げ、会社発展のため頑張ることを目標にしています。



西方 健児

昭和17年9月1日生

昭和51年6月入社

第21海光丸船長

早いもので、当社にお世話になつてから十二年の歳月が流れました。



大淵 常男

昭和17年8月21日生

昭和47年6月入社

建設機械整備主任

昔は人生五十年といわれていましたが、そこに手が届く

## 商売 馬九行く

今年午年です。

午年にちなんだ上の写真は九頭の馬が天に昇っていく様子画いたもので「上手いく」願いをこめた縁起のよいものといわれています。人間が向上するためには、自分の努力が第一ですが、自分の力が及ばない場合があり「何か」に頼りたくなります。そういう時にこの絵を思いだして心の支えにして下さい。

今年、船舶要員として、是非若手を採用していただき活力溢れる船団に衣替えしたものだと思っております。「港湾工事の加藤組」の名をさらに高めたいのが、午歳を迎えて私の抱負です。



梁田 耕次

昭和5年8月31日生

昭和61年6月入社

総務部次長

生まれて五回目の午歳、ということでは還暦を迎えたことになりました。

生れた歳の干支に還つたわけですから、これからが本當の意味での第二の人生です。年齢的には体力は下り坂でしょうが、訓練と節制によつて健康を維持し、若い者には負けないという自負をもつて皆さんと肩を組み、会社のために一杯頑張りたいと思っております。

四回目の午歳です。しかし、これからが男盛り働き盛りであると信じて頑張りたいと思います。交通事故の多発は社会問題になっていますが、当社でも時々発生しています。運転を担当する者として、交通安全を第一に考え、駄馬でもいいから、どつしり落着いて、他人を思いやる優しさで、安全運転を心掛けることが、午歳を迎えた私の願いです。



# 男鹿北中 寒風のなか突貫工事

建築課長代理 **伊藤 満**

工事場所

男鹿市北浦北浦字山王林四〇

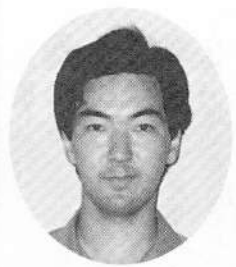
工事内容

RC三階（一部五階）一、六一七㎡

工事期間

平成元年6月19日から2年3月20日まで

工事施工者		建築工事の表示	
校舎棟第1工区	株式会社加藤組	工事名	男鹿市立男鹿北中学校建築工事
校舎棟第2工区	株式会社沢木組	構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 2221㎡ 3702㎡
管理棟	株式会社清水組	工事期間	平成元年6月19日～平成2年3月20日
機械設備工事	山二施設工業株式会社	建築主	男鹿市長菅原慶吉
電気設備工事	羽後電設工業株式会社	設計者	(有)加藤哲夫建築設計事務所
		工事監理者	男鹿市



この現場の特徴は、建物が棟にもかわらず男鹿市の建設会社三社で、工区わけして分離発注の形態をとっていることです。

ここ数年來、建築界全般に職人不足の状態に加えて、好景気ということもあり、どこ現場も工期内に完成させるのは、難しい事態になっております。

そんな中で発注されたためか、一社だけで完成にこぎつけるのは無理という市の考えのもと分離発注になったものと思われま。

建物、校舎棟第一工区が当社で、校舎棟第二工区が沢木組、管理棟が清水組です。

各現場代理人は、以前、別の工事と一緒にやった間柄で気が知れているので、互いに気をつかいながらも、和気

の目黒真由美さんです。現場の事務に関しては、始めは、やはり現場の雰囲気慣れるまで戸惑っていたようですが、今ではすっかり現場を把握している頑張り屋さんです。

暗くなりがちな事務所内を、明るくしているたのもしい一員です。

一方工事の状況は、現在（十二月十五日）三階まで躯体は、完了しております。

追伸、さる十二月十三日、この北中学校を設計された加藤哲夫所長が他界されました。この場を借りて、御冥福をお祈り致します。

今後は、内・外装工事、塗装工事、木工事と進みます。三月二十日の完成を目指して心を新たに平成二年の好スタートを切りたいと思います。



## 現在実行中の主なる工事現場

- 男鹿興業社社屋新築工事  
工期 平成2年2月20日  
現場代理人 加藤久人
- 奥田縫製厚生施設増築工事  
工期 平成2年3月31日  
現場代理人 金子憲行
- 路面損傷復旧工事  
工期 平成2年3月31日  
現場代理人 佐藤謙一
- 滝川かんがい排水工事  
工期 平成2年2月20日  
現場代理人 三浦喜代見
- 県単交通安全施設工事  
工期 平成2年3月10日  
現場代理人 石川 守
- 地方港湾改修工事2件  
工期 平成2年3月9日  
現場代理人①夏井直弥  
②原田康文
- 秋田下堤住区整地工事  
工期 平成2年3月25日  
現場代理人 伊藤彦助
- 緊急地方道整備工事  
工期 平成2年3月10日  
現場代理人 荒木 聡
- 雄物川流域下水道工事  
工期 平成2年3月20日  
現場代理人 伊勢谷 寿
- 生態系自然公園造成工事  
工期 平成2年3月12日  
現場代理人 小野俊剛

昭和十四年三月、道路の舗装工事からスタートした当社は、平成の時代の幕あけに創業五十周年を迎えました。

会社が順調に発展してきたのは、諸先輩をはじめ、従業員の努力が大いにあずかっておりませんが、それを支えるご

# 和やかに 盛大に 家族懇親の集い 創業50周年を祝して開催

## 加藤義孝会頭の挨拶



家族のご協力を忘れてはなりません。

当社では、日頃の労苦をねぎらうため、平成元年十月二十六日、秋田市キャッスルホテルにおいて「家族懇親の集い」を開催しました。

当日は一四〇家族、二五〇人の方々が会場の放光の間が一杯になるほどの盛況で、公務ご多忙中の二田孝治先生も出席され、お祝いと激励の言葉を述べて下さるなど、三時間が短かく感じられるほど、和やかに、賑やかに懇親を深めました。

## 代表して謝辞を述べる 安藤政治様



を基本に、信頼される工事、新技術、新工法の導入なども積極的に取り入れ今日の基盤を築いたわけですが、世紀の後半に向って見事な花を咲かせるよう、さらに努力を重ねていかなければなりません。

感謝状を贈られた方々

- 故 佐藤謙輔様
- 故 天野実様
- 故 安藤政治様
- 故 伊勢健悦様
- 故 加藤富五郎様
- 故 佐沢喜一郎様

平成二年の今年の干支は午年です。そこで「午」について物の本を調べてみました。

午とは、古書によると陰気が陽氣を冒す意とありま

す。陰陽二氣の消長によって自然界の秩序が保たれて

いるとする中国古来の「陰陽説」に従えば、今年はい

まりよくない卦ということになりませんが、午年生まれ

の人は一般におとなしいとされています。

昭和の時代では五回、平成に入って最初の午年ですが、歴史的にみると波乱の世相でした。

昭和5年 大恐慌で、倒産休業で失業者が巷に充満。

昭和17年 太平洋戦争開戦の翌年で、戦局の転換期。

昭和29年 朝鮮動乱の特需ブームが下り坂となったが電気製品の三種の神器とい

倒産が続発し失業者増大。円の異常高値等があり、景気刺激のための大型国家予算、公共事業投資の増大。

このように過去五回の午年は、いずれも波乱に富んで

ましたが、年号が平成に変わった今年はどうなるのでしょうか。

さて、人間と馬とのかわり合いはどうであったか。馬

り合いはどうかであったか。馬

は、人間と馬とのかわり合いはどうかであったか。馬

は、人間と馬とのかわり合いはどうかであったか。馬

は、人間と馬とのかわり合いはどうかであったか。馬

は、人間と馬とのかわり合いはどうかであったか。馬

## 馬年に思う

社長室長 市川康彦



源義経が「馬も四つ足、鹿も四つ足」といって、ひよどり越の坂落として平家を滅亡に追い込み、川中島の合戦では両雄が馬上で一騎打ちするなどは戦国絵巻の圧巻です。

現在、最後の追い込みに手に汗握る競馬は、古代に豊作や天下泰平を祈願した朝廷の神事「くらべ馬」にその源を発しているといわれています。

馬に関する諺に「人間万事塞翁馬」(人生の吉凶禍福は予測できないものだ)、「馬を相するに瘦に失す」(人間は外見だけで判断してはいけ

ない)、「馬耳東風」、「馬の耳に念佛」、「牛飲馬食」等があり、習俗としては、絵馬、馬頭観音、初馬、馬追いなどがありますが、近年ではジャジャ馬、あて馬、付き馬など、馬のつく言葉も品位が落ちてきたよう

です。

平成二年を迎え、気分一新で「天馬空を征く」となりたいものですが、社会情勢はさらに厳しくなりそうです。しかし、その厳しさを乗り越える馬力と精神力を期待します。

平成二年を迎え、気分一新で「天馬空を征く」となりたいものですが、社会情勢はさらに厳しくなりそうです。しかし、その厳しさを乗り越える馬力と精神力を期待します。

平成二年を迎え、気分一新で「天馬空を征く」となりたいものですが、社会情勢はさらに厳しくなりそうです。しかし、その厳しさを乗り越える馬力と精神力を期待します。



# 作業の活力確かめ合う

## 協力会総会 初めて宿泊で実施

平成元年度の協力会総会は平成に入って初の天皇誕生日の佳き日に、男鹿温泉白竜閣において、安藤政治氏、天野実氏、加藤勝好氏などの来賓を迎え、一三〇人が出席して行われました。

物故者供養のあと、武田会長は「平成の新しい時代を迎え、私たちは気分を一新し、さらに立派な仕事をして、会社の期待に応えたい」と力強く挨拶をしました。

次いで表彰状の授与が行われ、受賞者を代表して三浦久美子さんが「晴れの日に表彰して戴き感謝しております。この感激を今後の仕事に活かし、会社のためになお一層頑張ります」と謝辞を述べられました。

全員の賛成で承認され、協会の強固な結束が図られました。社長は「議事のなかで若い会員から活発な意見がだされるなど当社の若い力が育っていることがわかり、頼もしく思う。この力を諸先輩が築いた五十年の基盤の上にさらに積上げて欲しい」との期待を述べられ、会頭は「今晩は一泊して懇親を深めることになっっているが、社員の融和がすべての力の根源になる。大いに歓談し、明日からの活力を養ってもらいたい」と激励されました。

### 新年度の役員

議事の審議は順調に進み、

会長 武田 敬作  
副会長 吉田 吉隆

天野 孫友

蓬田 京子

伊東 俊博

江畑 芳克

栗森 吉照

安田 由美

飯沢文太郎

三浦喜代見



会長 武田 敬作

## 懇親

飲んで、食べて、歌い、踊り、氣勢をあげ、なかには愚痴るものもあり、そんななかから気心が知れ、懇親が深まり、明日から働く活力が生まれる。



## 成績優秀で表彰された方々

事業を進めるため必要なものは資金と設備ですが、それを動かすのが人です。当社は人材が豊富で、それぞれの現場で活躍しております。そのなかで特に優秀な10人の方々が今回表彰されました。



佐藤雅宜さん  
土木課



下間 正弘さん  
土木課

夜間工事の厳しい工程を乗り切り、作業のリーダーとなる。

施工管理能力の向上。責任感強く発注者の信頼も高い。



佐沢吉友さん  
土木課



武田錦一郎さん  
土木課

黙々と作業に没頭。勤務態度も良好。

上司の指示を忠実に守り、どんな仕事にも意欲的に従事。



三浦久美子さん  
総務課

困難な事務を的確に処理。女子社員のまとめ役。



石川 薫さん  
日本アスコン

プラント操作、生コン車運転試験手伝い等多面的に活躍



児玉和子さん  
日本アスコン

来客対応、電話応答、配車等を的確に処理。



鈴木浩悦さん  
情報管理室

ソフト開発など新分野で意欲的に活躍。



斉藤和男さん  
港湾課

クレインの操作能力非凡。機械類の積極的な点検整備。



建設機械課長代理 秋本純巧さんの長男  
健吾 ちゃん  
平成元年11月20日生



副社長 加藤義康さんの長男  
よしあきら  
義士 ちゃん  
平成元年11月22日生

## こんにちは 赤ちゃん

社員にかわいい赤ちゃんが生まれました。これから、当社も男鹿市も背負って立つ人材に育つよう、皆んなで、やさしく見守ってあげましょう。

# 安全衛生委員会から

## 心新たに

## ゼロ災を目指そう

安全衛生委員長 夏井 勉



皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、気持ちを引き締め、新たな心で、今年こそゼロ災職場を達成するよう頑張りますよう。

昭和から平成になった昨年、当社の安全管理面では、決して「平らか」ではありませんでした。正月早々に下請業者の作業員が足場から転落するという事故が発生してしまいました。安全重点目標として墜落防止と下請業者への安全教育を掲げた直後に、二項目に当てはまる事故が発生したので

から、私たち関係者は大きな衝撃を受けたものでした。

その後、社長を先頭にして安全管理に最善を尽した結果労働災害は防止できました。

しかし、車両事故は後を絶ちません。幸い、人身事故にはならなかったものの、どの事故も幸運に恵まれて物損事故のみで済んだというもので、重大事故につながるおそれは十分あり、振り返ってみて冷や汗がでる思いです。

幸運に頼った安全対策ではだめです。基本をしっかり守り、守らせ、頭から足の先まで行きわたった安全意识、活動でなければなりません。

平成二年の安全重点目標は次の二点ですから、肚の底から「安全第一」を職場全体の声にして下さい。

一、作業員間、協力企業間の連携を密にし、安全で能率的な作業遂行に努めよう

労働災害の大部分は、お互いの連絡不十分から発生します

現在の作業形態は単独で行うものは少なく、組作業、それも人間と機械作業の組合せが多くなっています。機械と人間との連携が悪いと事故に

つながります。特に機械作業はエンジン音や死角があったりして、声だけの連絡、合図では効果がないばかりでなく誤った判断を生みます。

作業員同志の連携プレーは作業中だけでなく、朝のミーティングはもちろん、休憩中でもお互いの気持ちがしっくりいくよう心掛けて欲しいものです。

ひとつの現場で、当社の作業員だけという例は少なくなりました。特に建築現場などは十指に余る業者の協力をえております。各業者ともそれぞれ安全教育、管理は十分なはずですが、奇合い世帯になればお互いの連携がくずれがちです。朝の打合せだけでなく、作業中も、また、作業前日以前にもよく打合せする必要があります。

作業員間、協力企業間の連携は、安全管理だけでなく、作業を円滑に能率的に進めるためにも必要です。作業が能率的に、手際よく進む現場に事故は発生しません。能率と安全は車の両輪であることを忘れないで下さい。

当社では毎月一日の早朝、安全集会を開催して、交通安全意識の高揚を図っておりますが、なかなか事故が減りません。なにかが欠けていると思います。

携は、安全管理だけでなく、作業を円滑に能率的に進めるためにも必要です。作業が能率的に、手際よく進む現場に事故は発生しません。能率と安全は車の両輪であることを忘れないで下さい。

### 一、ゆとりある運転、思いやり運転に徹し、交通事故の絶滅を図ろう

ひとつは、ゆとり不足ではないでしょうか。確かに現場の仕事は多忙です。だからといって気持ちがあせっても現場に早く着くとは限りません。運転が無謀になるだけです。忙しい時ほど心にゆとりが必要です。

次に、歩行者や他車に対する思いやりはどうでしょうか。思いやる心があれば運転もスムーズになるし、車の寿命も長まります。自分の車も、他人の車も、歩行者にも優しい思いやりの心があれば事故は激減すると思います。

平成の年号にちなみ、心を平らかにし、ゆとりある運転思いやり運転に徹しましょう。

昨年現場作業は多忙を極めたにもかかわらず、安全確保を進めるなかでも、安全確保を最優先しなければなりません。次の方々は、職場安全活動推進の中心となって頑張りを、先日の協定会総会の席上で表彰されました。



昨年現場作業は多忙を極めたにもかかわらず、安全確保を進めるなかでも、安全確保を最優先しなければなりません。次の方々は、職場安全活動推進の中心となって頑張りを、先日の協定会総会の席上で表彰されました。



佐藤景基さん (建設機械)



江畑芳克さん (港湾)



船木新一さん (建設運輸)



船木弘子さん (土木)

## 平成元年度募集 安全標語優秀作

朝のあいさつ職場の和 作業の掛け声無事故の輪

夏井直弥 (港湾)

こんなもの そんな時にも油断すな 事故は心の隙間に入る

ほこりかぶすな安全標語 現場の隅から笑顔で応援

武田 錦一郎 (土木)

目黒 真由美 (総務)

金賞

銀賞



# 加藤組のあゆみ ⑩

## 私が入社した頃

学校を卒業して、そのまま  
生家の農業の手伝いをしてい  
ましたが、次男坊である私はど  
うしても独立しなければなら  
ないため、当時、市議員をし  
ていた加藤先生にお願いし  
当社に就職が叶いました。昭  
和三十二年、私が二十二歳の  
時でした。

月給は七八〇〇円、土工の  
日給が三四〇円の頃で、入社  
した当時は資材運搬が専門で  
した。というのは、舗装工事  
を行う場合、今のようにプラ  
ントから合材や生コンを運ぶ  
のではなく、トラクックに移動  
式のプラント、ミキサーなど  
の機械と、生アス、セメント  
砂利、砂を積んで行き、現場  
で合材やコンクリート作りを  
したからです。

こうしたやり方で、船川駅  
前から金川まで約二軒の舗装  
をしましたが、今考えると人  
間業ではないような気がします。  
高潮対策のよう壁も移動式  
のミキサーでやりました。  
バックホーのない頃によく  
あれだけの工事ができたもの  
です。若かったといえはそれ

までですが、日曜も祝日も休  
みなしです。休むのは盆と正  
月を合わせて一週間位で夜明  
けから暗くなるまで働くとい  
うのが当時の常識でした。  
秋田国体の時、秋田市寺内  
の旧国道の舗装では、ようや  
くできた秋田舗道のプラント  
から合材を運びましたが、コ  
ンクリートは依然として移動  
式ミキサーで現場練ります。  
碎石場の仕事もしました。  
昭和三十年頃から約二十年間  
西黒沢に碎石場があり、結構  
良質な碎石生産ができました

が、資源が尽きて廃止になり  
ました。プラントを持つ当社  
としては、やはり自前の碎石  
場が必要で、この意味からも  
国有林で予定している秋田碎  
石場が一日も早く生産できる  
ことが期待されます。  
三十年前と今とでは、機械  
の普及など、仕事のやり方は  
大きく変わりましたが、人の  
「頑張り」が必要なことは変  
わりません。厳しい建設業界  
での生き残り策は「頑張り」  
だと思います。  
(土木本部長・伊勢義雄)

# フアミリー紹介

土木部土木主任(29歳)

## 荒木 聡さん一家



父 昭 作さん(59歳)  
母 スメ子さん(53歳)  
妻 真 弓さん(29歳)  
長男 廣太ちゃん(4歳)  
長女 暁姫ちゃん(1歳)

荒木聡さんは、能代工業高  
校から東京測量専門学校で学  
び、昭和五十五年四月に当社  
へ入社、港湾課に配置されま  
した。  
その後、能代港建設事業所  
主任、船川事業所長を歴任す  
るなど、港湾関係の仕事一筋  
に頑張っておりです。この間  
安全表彰や一般表彰も受けた  
優秀社員で、現在は土木主任  
として若手社員の先頭に立ち  
会社の期待を一身に集めてお  
ります。

バレエの選手としても活躍し  
彼の鋭いサーブを思わず？ホ  
ールディングしたのが男鹿ク  
ラブのエースである真弓さん  
でした。以来、二人の甘いラ  
リーが続ぎ、廣太ちゃんと暁  
姫ちゃんが生まれ、二人とも  
元気過ぎるほど元気に育って  
います。  
躍進No.8の「こんには赤  
ちゃん」で紹介した暁姫ちゃ  
んが、もうこんなに大きくな  
りました。  
現在は、三姉妹の長女であ  
る奥さんのご両親と一緒に暮  
らしていますが、一家でバレ  
エのチームが編成できるよう  
ご両親にはいつまでも若々し  
く、子供さんは早く大きくな  
ることを祈ります。

## 編集後記

明けましておめで  
とうございます。  
昨年は多忙な一年  
でした。現場の皆さ  
んは、工期に追われ  
る毎日で大変だつた  
と思いますが、忙し  
いということは会社  
に活気があることで  
すので、視点を変え  
心にゆとりをもって、着々と  
仕事を処理しましょう。

長い間  
「苦勞様でした」  
定年退職 元・12・31付  
○鈴木 文雄さん  
○原田勇太郎さん  
自己都合による退職

○漆 牧子さん 元・8・14付

○熊谷敏夫さん 元・11・30付

脱スパイクタイヤの気運が  
高まっています。夜間の舗装  
工事の苦勞を思えば、道路を  
大事にする意味からも、スタ  
ットレスタイヤへの移行を真  
剣に考える時期と思います。

◆ ◆ ◆  
午年は十二支の七番目、後  
半のスタートの年です。当社  
の歴史も一世紀の後半に入り  
ます。基本方針にもあるよう  
に「ゼロからの視点」で心気  
一転、捻りある一年でありた  
いものです。